



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)

コード番号 5991 URL <http://www.nhkspg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 和己

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画本部経営企画部長 (氏名) 八代 隆二

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 045-786-7513

平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	250,685	23.5	15,644	90.7	16,229	97.5	9,876	72.6
24年3月期第2四半期	202,959	△10.9	8,205	△50.3	8,217	△49.4	5,722	△39.4

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 6,088百万円 (132.4%) 24年3月期第2四半期 2,619百万円 (△46.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	40.65	—
24年3月期第2四半期	24.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	393,004		173,221		41.8
24年3月期	393,695		166,739		39.3

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 164,234百万円 24年3月期 154,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
現時点では25年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	15.7	30,000	33.4	31,000	29.8	20,000	19.5	82.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社トーブラ 、 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	244,066,144 株	24年3月期	244,066,144 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,168,037 株	24年3月期	7,871,122 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	242,974,710 株	24年3月期2Q	234,075,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）継続企業の前提に関する注記	11
（5）セグメント情報等	11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6ヶ月間）における世界経済につきましては、米国は緩やかな伸びを示してきたものの、欧州は依然として債務問題により景気が低迷しております。中国ならびにアジア経済は、欧州向け輸出が減少した影響もあり、成長が鈍化してきております。

一方日本経済につきましては、欧州の金融不安に伴う円高の長期化、中国経済の減速などの懸念材料はあるものの、東日本大震災からの復興需要などにより景気は緩やかな回復局面にありました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、震災からの生産回復とエコカー補助金の効果などにより、国内販売は2,591千台で前年同期比33.5%の増加となりました。完成車輸出は2,367千台で前年同期比19.4%の増加となりました。これにより国内の自動車生産台数は4,907千台で前年同期比25.7%の増加となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連は、顧客であるHDD（ハードディスクドライブ）メーカーの増産により受注が増加いたしました。

以上のような経営環境から、売上高は250,685百万円（前年同期比23.5%増）となりました。また収益面では、売上増により、営業利益は15,644百万円（前年同期比90.7%増）、経常利益は16,229百万円（前年同期比97.5%増）、四半期純利益は9,876百万円（前年同期比72.6%増）となりました。

当第2四半期末配当金につきましては、1株につき8円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[懸架ばね事業]

懸架ばね事業は、国内外での自動車の増産により、売上高が50,928百万円（前年同期比22.3%増）、営業利益が4,954百万円（前年同期比87.4%増）となりました。

[シート事業]

シート事業は、国内外での自動車の増産により、売上高が99,194百万円（前年同期比27.0%増）、営業利益が6,574百万円（前年同期比139.7%増）となりました。

[精密部品事業]

精密部品事業は、国内外での自動車の増産、HDDの増産により、売上高が65,191百万円（前年同期比31.8%増）、営業利益が2,426百万円（前年同期比93.1%増）となりました。

[産業機器ほか事業]

産業機器ほか事業は、景気の回復による受注増により、売上高は35,371百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益が1,689百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等がありましたが、連結子会社の追加による有形固定資産の増加等があったことから、前連結会計年度末に比べほぼ横ばいの691百万円減少で、393,004百万円となりました。

負債については、営業債務の減少等の影響により、前連結会計年度末に比べ7,173百万円減少し、219,782百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の留保による利益剰余金の増加や株式交換による自己株式の減少等の影響により、前連結会計年度末に比べ6,481百万円増加し、173,221百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、欧州の金融不安、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化などから先行き不透明感が高まっております。厳しい環境下ではありますが、受注活動の強化と、さらなる原価低減活動により、業績の向上に努めてまいります。

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、中国における日本車の販売不振に伴う自動車部品の受注減、HDDメーカーの在庫調整・減産に伴うHDD関連部品の受注減、円高の影響などにより、平成24年8月8日に公表した数値を下回る見込みであるため、以下のとおり修正いたします。

なお、平成25年3月期通期連結業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは、78円/米ドル、2.5円/タイバツとしております。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	530,000	38,000	39,000	25,000	102円91銭
今回修正予想（B）	510,000	30,000	31,000	20,000	82円33銭
増減額（B－A）	△20,000	△8,000	△8,000	△5,000	—
増減率（％）	△3.8	△21.1	△20.5	△20.0	—
（参考）前期連結実績 （平成24年3月期）	440,752	22,493	23,884	16,741	71円47銭

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社を株式交換完全親会社、株式会社トープラを株式交換完全子会社とする株式交換を行い、株式会社トープラを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ92百万円増加しております。なお、報告セグメントごとの影響額につきましては、セグメント情報等に記載のとおりであります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,217	48,873
受取手形及び売掛金	101,631	104,123
商品及び製品	12,785	14,547
仕掛品	6,944	8,618
原材料及び貯蔵品	10,111	9,324
部分品	3,230	3,314
繰延税金資産	3,992	4,079
その他	15,171	14,994
貸倒引当金	△177	△137
流動資産合計	212,907	207,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,477	115,586
減価償却累計額	△68,036	△73,112
建物及び構築物 (純額)	40,440	42,474
機械装置及び運搬具	164,449	181,892
減価償却累計額	△130,880	△145,521
機械装置及び運搬具 (純額)	33,569	36,371
土地	28,871	30,650
リース資産	5,191	5,322
減価償却累計額	△2,349	△2,571
リース資産 (純額)	2,842	2,751
建設仮勘定	6,183	6,164
その他	47,771	50,167
減価償却累計額	△42,499	△44,347
その他 (純額)	5,271	5,819
有形固定資産合計	117,178	124,230
無形固定資産	2,797	3,333
投資その他の資産		
投資有価証券	48,261	39,548
長期貸付金	1,047	3,182
繰延税金資産	3,206	3,784
その他	8,464	11,358
貸倒引当金	△168	△171
投資その他の資産合計	60,812	57,702
固定資産合計	180,788	185,266
資産合計	393,695	393,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,904	69,589
電子記録債務	29,953	28,513
短期借入金	22,581	24,123
未払法人税等	3,422	3,328
繰延税金負債	768	775
役員賞与引当金	229	125
設備関係支払手形	2,089	2,184
その他	26,806	28,746
流動負債合計	163,754	157,386
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	22,421	22,369
リース債務	2,404	2,454
繰延税金負債	6,845	4,790
退職給付引当金	9,425	10,773
役員退職慰労引当金	607	500
執行役員退職慰労引当金	688	660
その他	807	847
固定負債合計	63,201	62,396
負債合計	226,956	219,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	17,900	19,308
利益剰余金	127,904	135,891
自己株式	△5,345	△793
株主資本合計	157,469	171,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,413	9,155
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△15,971	△16,336
その他の包括利益累計額合計	△2,557	△7,181
少数株主持分	11,827	8,986
純資産合計	166,739	173,221
負債純資産合計	393,695	393,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	202,959	250,685
売上原価	178,209	216,389
売上総利益	24,749	34,296
販売費及び一般管理費	16,544	18,651
営業利益	8,205	15,644
営業外収益		
受取利息	263	291
受取配当金	574	400
持分法による投資利益	688	163
不動産賃貸料	345	410
その他	457	463
営業外収益合計	2,328	1,728
営業外費用		
支払利息	464	412
為替差損	1,154	229
その他	697	502
営業外費用合計	2,316	1,143
経常利益	8,217	16,229
特別利益		
負ののれん発生益	—	667
固定資産売却益	—	199
その他	117	48
特別利益合計	117	914
特別損失		
投資有価証券評価損	9	1,515
関係会社出資金評価損	181	—
減損損失	63	335
訴訟関連損失	344	—
その他	—	312
特別損失合計	598	2,162
税金等調整前四半期純利益	7,736	14,981
法人税等	1,408	4,324
少数株主損益調整前四半期純利益	6,328	10,657
少数株主利益	605	781
四半期純利益	5,722	9,876

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,328	10,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,744	△4,268
繰延ヘッジ損益	△7	△0
為替換算調整勘定	△2,231	△139
持分法適用会社に対する持分相当額	275	△160
その他の包括利益合計	△3,708	△4,568
四半期包括利益	2,619	6,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,088	5,252
少数株主に係る四半期包括利益	531	835

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,736	14,981
減価償却費	10,477	10,321
減損損失	63	335
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△219	△21
受取利息及び受取配当金	△837	△691
支払利息	464	412
為替差損益(△は益)	601	72
持分法による投資損益(△は益)	△688	△163
有形固定資産除売却損益(△は益)	129	△149
投資有価証券評価損益(△は益)	11	1,515
売上債権の増減額(△は増加)	△3,967	2,057
たな卸資産の増減額(△は増加)	△135	△274
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,933	△16,521
その他	△3,035	△976
小計	8,666	10,898
利息及び配当金の受取額	2,181	1,044
利息の支払額	△432	△424
法人税等の支払額	△5,480	△4,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,934	7,288
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△82	93
有価証券の取得による支出	△1,998	—
有価証券の売却による収入	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△10,874	△11,781
有形固定資産の売却による収入	32	520
無形固定資産の取得による支出	△473	△351
投資有価証券の取得による支出	△5,940	△1,680
投資有価証券の売却及び償還による収入	125	7
貸付けによる支出	△508	△2,885
貸付金の回収による収入	1,239	1,335
その他	△443	△226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,923	△14,968

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,834	2,492
短期借入金の返済による支出	△5,717	△2,441
長期借入れによる収入	12,000	4,212
長期借入金の返済による支出	△6,953	△7,135
社債の発行による収入	16,000	12,000
社債の償還による支出	△6,000	△12,000
自己株式の取得による支出	△9	△0
自己株式の売却による収入	0	151
リース債務の返済による支出	△402	△306
配当金の支払額	△1,873	△1,890
少数株主への配当金の支払額	△111	△147
その他	27	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,793	△5,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,256	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	547	△12,739
現金及び現金同等物の期首残高	52,934	58,773
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2,467
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△579	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,903	48,501

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,639	78,079	49,455	33,785	202,959	—	202,959
セグメント間の内部売上高 又は振替高	865	41	444	2,340	3,691	△3,691	—
計	42,504	78,120	49,899	36,125	206,650	△3,691	202,959
セグメント利益(営業利益)	2,644	2,743	1,256	1,561	8,205	—	8,205

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額3,691百万円はセグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

精密部品事業の資産について減損損失63百万円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,928	99,194	65,191	35,371	250,685	—	250,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	861	36	969	4,007	5,875	△5,875	—
計	51,790	99,231	66,160	39,379	256,561	△5,875	250,685
セグメント利益(営業利益)	4,954	6,574	2,426	1,689	15,644	—	15,644

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額5,875百万円はセグメント間取引の消去であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

産業機器ほか事業の資産について減損損失75百万円を計上しております。

また、全社資産について減損損失259百万円を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「懸架ばね」のセグメント利益が43百万円増加し、「シート」のセグメント利益が15百万円増加し、「精密部品」のセグメント利益が21百万円増加し、「産業機器ほか」のセグメント利益が12百万円増加しております。

(参考情報)

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高	150,580	16,100	45,769	212,451	△9,492	202,959
セグメント利益又はセグメント 損失(営業利益または営業損失)	4,048	△65	4,222	8,205	—	8,205

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米・・・アメリカ

(2) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高	177,042	24,825	57,503	259,372	△8,686	250,685
セグメント利益(営業利益)	9,311	848	5,484	15,644	—	15,644

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米・・・アメリカ

(2) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成24年4月1日付で、当社を株式交換完全親会社とし、日発販売株式会社及び株式会社トープラを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。また、これに伴い保有する自己株式を本株式交換において交付する株式として充当しております。これらの結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が1,407百万円増加し、自己株式が4,551百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が19,308百万円、自己株式が793百万円となっております。